

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 目黒区立五本木小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒153-0053
東京都目黒区五本木2-24-3
E-mail : meghngeh@meguro.ed.jp
Website : http://www.meguro.ed.jp/meghneh/
児童生徒数：男子 174名 女子 168名 合計 342名
児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

全教育活動を通して、本年度も「森といのちのESD」をテーマに、いのちのつながりを大切にする実践を通して「学びをつなげ 深め 広げる」子どもの育成を図った。

○五本木の森プロジェクト（校庭の一角にある武蔵野の雑木林の名残り「五本木の森」）の立ち上げ

○森のワークショップ（講師：緑と公園課）

○ESD夏の研修会（講師：永田佳之先生「自己変容と他者変容」のワークショップ 円たくん使用）

○1月学校公開で五本木小ESDの学びを発信

○1月「五本木小ESD未来の担い手を育む」講演会（講師：永田佳之先生）

保護者や地域の方々と円卓によるワークショップを行う。

○目黒ユネスコ協会との連携

○他校ユネスコスクールとの交流、懇親

○特別活動「エコ・グリーン委員会」各学年の「五本木の森の取り組み」を紹介、目黒区環境宣言への具現化につなげる。区教委より優良実践として受賞された。

○「五本木未来遺産 いのち」リーフレット作成し、保護者・地域への配布

○研究紀要作成

○生活科・総合的な学習の時間において、いのちのつながりを大切にする実践のブラッシュ・アップを行う。（以下、詳細です）

平成26年度の各学年の主な実践

1年生 生活科「なかよしいさくせん」

地域の保育園とつながり3年目の交流活動。自分たちのかつて所属していた保育園に行き、園児に読み聞かせをしたり、展覧会に招待したり、1年生体験など3回の交流を行った。保育園児ともっとなかよくなるにはどうしたらいいか、学びをつなげながら活動を進める中では、相手意識をもってかかわる姿がたくさん見られ、自分たちの成長を感じることに繋がった。

2年生 生活科「とびだせ！五本木のたんけんたい」

五本木のまちの宝さがし、まちの人へのインタビュー体験、公園や店など様々な場所で新しい気付きや出会いを通し、五本木のまちを体験することを積み重ねた。自分たちの知らないたくさんの方が生活していること、五本木のまちを守るために仕事をしていてくれる人がいること、自分も地域のコミュニティーの一員としてあることに気付きながら、五本木のまちとのつながりを深めることができた。

3年生 総合的な学習の時間「五本木の森プロジェクト～五本木の森の案内人になろう～」

大好きな「五本木の森」を学習材として、「みんなと共に未来につなげよう 五本木の森」をテーマに、森を感じる、生き物を調べる、いのちの循環などについて、友だちと協働して課題に取り組み、森の掲示板や樹木の名札の取り付け

などを行った。保護者・地域、緑と公園課、日本野鳥の会などの方々に、森の魅力を発信した。「五本木未来遺産 いのち」のひとつとして、つなげていきたい。

4年生 総合的な学習の時間「五本木の未来の街を創ろう」

「みんなが幸せに暮らせる五本木の街は、どんな街だろう」を問いに掲げて、五本木の街に住む人たちにインタビューやアンケートを行い、地域の方々の思いを知ることは、子どもたちにとって新鮮な驚きであった。「自然・店・安心安全・施設・住みやすさ・人」の6つの課題解決に向けてのグループに分かれ、体験活動や話し合い活動を重ね、街づくりで大切なことは、まず自分自身がこの街を好きになることに気付いた。

5年生 総合的な学習の時間「食と命～和食の生み出す豊かさ～」

食と命のつながりを無形文化遺産となった「和食」の視点で取り組んだ。「自然宿泊体験教室での間伐体験」、「出汁のワークショップ」、「佐藤初女さんのいただく命」のVTRなどに触れながら、友だちとの対話や様々な体験をつなげ、和食の豊かさについて考えた。和食和食ワークショップでは保護者・地域の方々に学びを自信を持って伝えようとする発信する姿が見られた。

6年生 総合的な学習の時間「12歳の誓い～飢餓」

「世界の人々が全員幸せになるためには何が大切なのだろう」という問いw掲げ、命の授業において、飢餓や人権について世界の現状を知るところから学びを始めた。飢餓がなくなる原因を友達と対話を重ね、地球温暖化、地球の気候変動、私たち人間の生活スタイル、環境破壊等への課題が広がった。自分たちの生活に具現化していく、未来の担い手としての行動にうつしていくことを今後追究していく。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用（夏休みや放課後、休日等）
- ユネスコ委員会（特別活動）~~クラブ~~の活動として実施
- その他（)